

# アラウンド・ザ・ワールド 2

## Around the World

第124回

### ヘルスケアとシニアケアの統合

アラウンド・ザ・ワールド Part 2の124回目は、韓国のシニア市場に関する新たな業界動向を取り上げる。これからのエコシステムの行方は？(RGA再保険会社提供)

韓国における最近の規制変更は、金融と非金融の連携を促進することで、保険業界の成長の方向性を大きく変えつつある。規制が緩和されたことにより、保険会社は従来のリスク引受やリスク移転にとどまらず、デジタルヘルスケアプラットフォームやシニアケアサービスへの進出が可能となった。このような規制面での追い風は、保険会社が新たなビジネスモデルを追求し、保険商品を超えた価値提案を行いながら、シニアの健康および介護に関する領域全体において、より積極的な役割を担うための環境を生み出している。

#### ヘルスケア・シニアケアの拡大の追い風

金融当局による最近の規制変更は、金融と非金融の統合を促進し、両者の相乗効果を高めることを目的としている。実際、規制の緩和により、保険会社はヘルスケア関連のプラットフォームサービスを提供することが可能となり、デジタルヘルスケアサービスやシニアケアサービス市場への参入環境が整備された。

### 新たな成長のフロンティアを切り拓く

必要がある。また、ヘルスケア・介護サービスとの緊密な連携により保険商品の有効性を最大化するとともに、クロスセルを通じて販売効率と収益性を高める必要がある。

#### エコシステムの統合による新たな収益モデルの構築

保険業界は、今回の規制緩和を、新たな収益モデルの確立、長期的な競争力の強化、データ活用戦略の推進、そして予防

医療サービスの構築に向けた好機と捉えるべきだ。保険会社は、疾病の予防や管理に焦点を置くデジタルヘルスケアサービスや、アフターケアを中心とした介護サービス等への事業拡大を検討することで、従来のバリエーションとの相乗効果を生み出すことができ

め、パートナーシップの構築も模索すべきだ。加えて、医療機関、金融機関、テクノロジー企業など、さまざまな業界のデータを活用し、パートナーシップや協業を通じて新たな付加価値サービスをつなぐ、連携型サービスの開発に重点を置くべきだろう。

#### ワンストップ型ライフスタイル健康管理プラットフォームの実現に向けて

究極的には、保険会社

従来の引受や保障提供といった役割を超えるものとなる。もう一つの戦略は、認知症保険などのシニア向け商品における代替的引受査定手法だ。従来の引受査定は、医療記録や標準化された告知質問に大きく依存するが、保険会社は、食事、運動、認知活動、社会的交流といったライフスタイルに関するデータを活用し、認知症のリスクの評価が可能となる。世界保健機関(WHO)によると、積極的な身体活動、禁煙、

習慣や行動に関連するものだ。したがって、食事、身体活動、認知的活動、社会的交流、睡眠、ストレスといった生活習慣や行動に関するデータを用いて個人の認知症発症リスクを評価することは、保険会社が査定結果に関するデータのアクセシビリティ、保険料の妥当性、および正確性を向上させる上で有益だ。

こうしたデータは、ウェアラブルデバイス、健康アプリ、告知書、電子カルテなどから収集可能だ。高度な分析と動的なモニタリングを活用することで、保険会社は保障内容を個人に合わせて最適化しつつ、認知症のリスクを低減する健康的な行動を奨励することができる。

【キム氏のプロフィール】延世大学を卒業し、ウォータールー大学で保険数理修士号を取得。米国アクチュアリー協会および韓国アクチュアリー協会正会員。米国証券アナリスト。商品開発、バリウエーション、年金アクチュアリー等、保険数理分野で豊かな経験を有する。2011年RGA入社。



キム氏



石川氏

執筆者

RGAリインシュアランスカンパニー韓国支店  
チーフ・プライシングアナリスト キム・キョンファ

キム・キョンファ

日本語訳

RGAリインシュアランスカンパニー日本支店 通訳  
山本あゆみ

山本あゆみ

日本語監修

RGAリインシュアランスカンパニー日本支店  
シニア・マネージャー プロダクト・ディベロップメント  
石川 幸佑

石川 幸佑

新たな保険商品・サービスの開発・普及を促進するためには、規制の枠組みの整備を提唱することも極めて重要だ。シニア市場の健全な発展を促進するため、韓国の金融当局はさまざまな戦略を積極的に模索している。

【石川氏のプロフィール】一橋大学経済学部卒業。日本アクチュアリー協会正会員。日本生命にてプライシングなどの商品開発業務を担当後、有限責任あす監査法人にて保険会社向けのアドバイザリー業務に従事。2025年RGA入社。

homai web

メールマガジン

保険毎日新聞の紙面に掲載しているニュースヘッドラインを毎日お届けします。登録無料です!

その日の注目のトピックがわかります。

保険毎日新聞の購読者でなくてもご登録いただけます。



詳細はこちら